

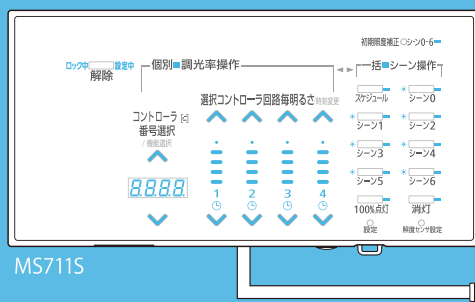
ローカル自動調光システム

MILCO.S [ワイヤレスタイプ]
コンセント式壁付コントローラ
MS711S

本ガイドブックは
製品の取扱説明書と併用してご活用ください。

スタートアップガイド

単独使用 スタンドアロン編



他のコントローラと
通信線で接続せずに
単独で使用する
場合はこれ！

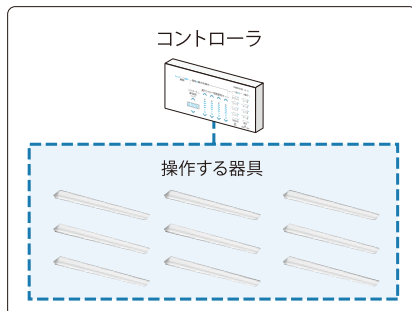
■構成の確認

本物件のシステム構成図では MILCO.S コンセント式壁付コントローラは下記例のように単独・もしくは複数台でも各々が単独使用されていますか？

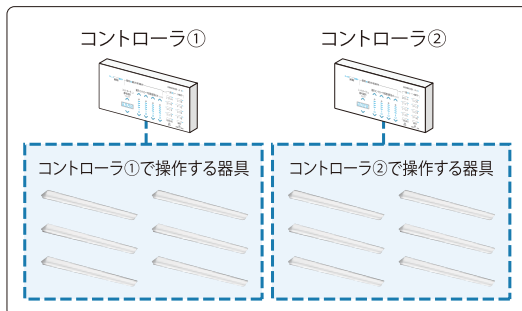
チェック



○単独使用例



○複数台使用例

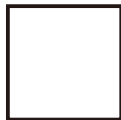


他のMILCO.S制御機器と組み合わせて使う場合は別冊の「コネクト編」をご覧ください。

■ 必要機器の確認

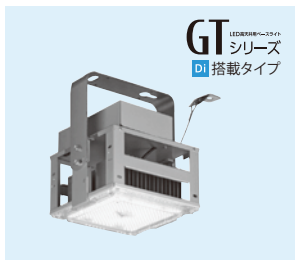
ワイヤレス接続のために、コントローラ以外に必要な機器は全てお手元にございますか？

チェック



● 無線調光対応LED器具

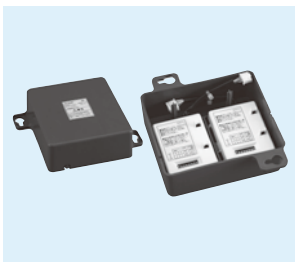
一部の器具は無線調光ユニットが既に搭載されています。



無線調光ユニットを取り付けるために、デジタルインターフェース **Di** が搭載されている器具が必要となります。**Di** 搭載の照明器具については、カタログをご参照ください。

● 無線調光ユニット

LED照明器具1台あたりに1つが必要です。無線調光ユニットはLED照明器具の形で適合が異なりますので適合した無線調光ユニットをお選びください。





おねがい

コントローラの取付場所について

コントローラから出る無線信号の届く範囲でなければ、照明器具が操作できません。また、コントローラから照明器具までの高さによって、無線の届く範囲が変わります。範囲内に、無線で操作したい全ての照明器具が入るよう、コントローラの取付場所を調整してください。取付場所は、遮へい物が無く見通しの良い壁面に取り付けてください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

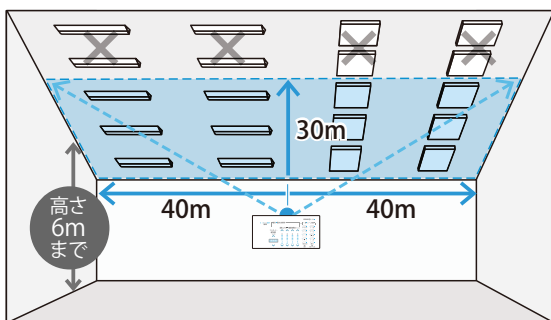
無線の届く範囲について

壁付形コントローラ

Myシリーズ (天井高6mまで)

無線の届く範囲：

左右に40m、操作面側に30m



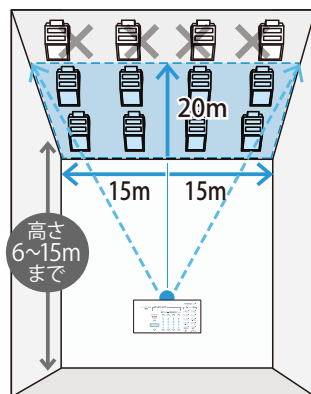
お知らせ

無線が届かない場所に設置した照明器具は操作できません。

GTシリーズ (天井高6~15mまで)

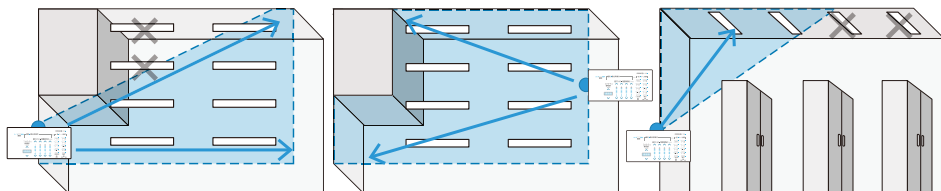
無線の届く範囲：

左右に15m、操作面側に20m



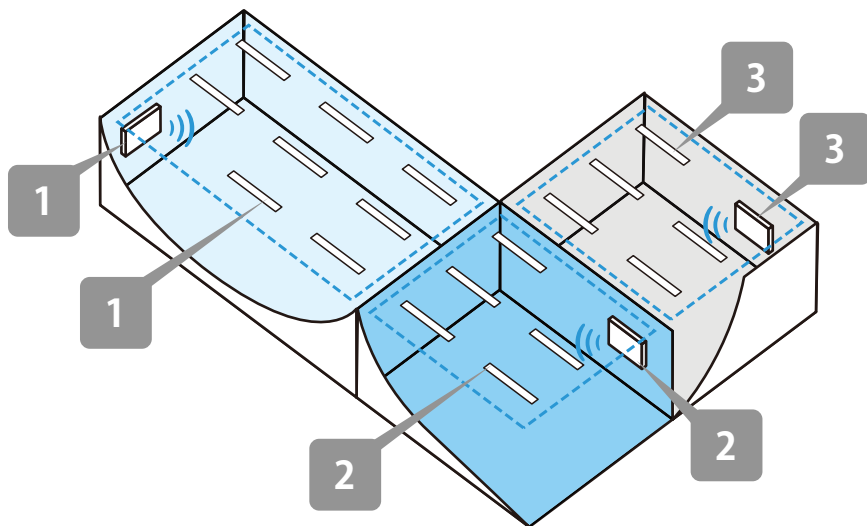
見通しの良い場所への取り付けについて

遮へい物があると、無線が届かない。



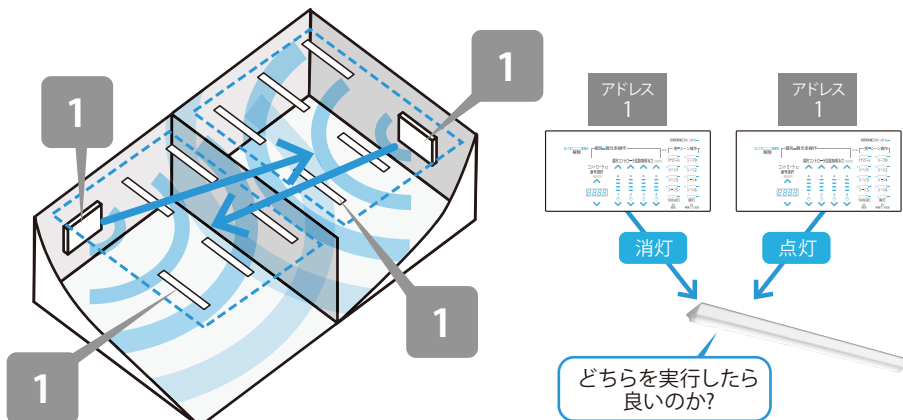
■「アドレス」とは何ですか？

複数のコントローラがある際は「無線アドレス(コントローラ番号)」を割り当てることで各コントローラの操作対象となる器具を指定します。アドレスは最大10(1～10まで)を設定することができます。“アドレス1”とされた器具は、“アドレス1”のコントローラから発信された命令のみを受け入れ、実行します。



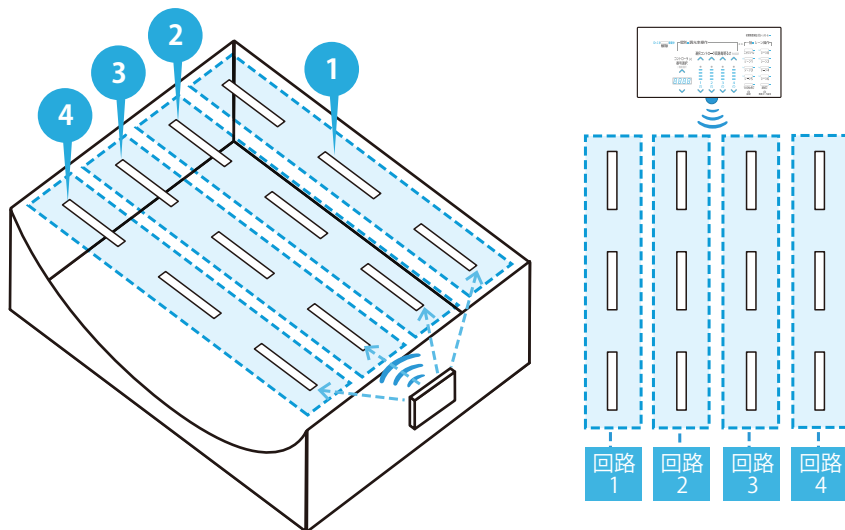
「アドレス」をあらかじめ設定しないと…

空間内に同じアドレスが重複して使用されるおそれがあります。同じアドレス番号コントローラの無線到達範囲が、重なって器具に到達すると複数の無線命令を受け、照明の予期せぬ明滅などの動作不良を引き起こす要因となります。



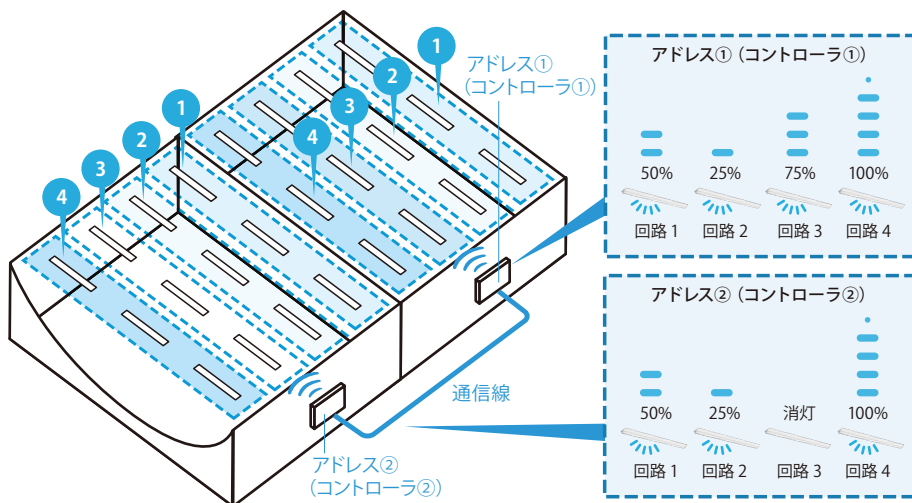
■「回路」とは何ですか？

ひとつのコントローラの中で、更に細かく各々の明るさを変える事ができる系統の単位を「回路」と呼びます。MILCO.Sシリーズの製品群には、ひとつのコントローラで4系統の回路を制御できるものと、2回路のものがあります。



「回路」を活用すれば…

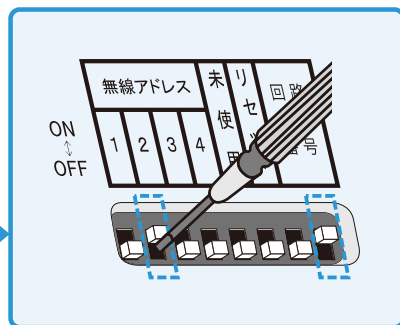
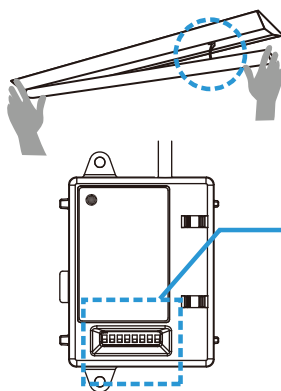
たとえば本器（MS711S）を2台使えば、8回路の器具群を設けそれぞれの明るさを変え点灯させることができます。



■「アドレス」「回路」の番号設定は 機器のスイッチ操作で行います

器具に搭載される無線調光ユニットと、コントローラの「ディップスイッチ」に、精密ドライバー等を使用し、アドレス及び回路番号の割り付けを行います。コントローラ側、及びその制御対象となる照明器具側のアドレスを合致させます。

● 照明器具側に搭載された 無線調光ユニットのディップスイッチ部（例）



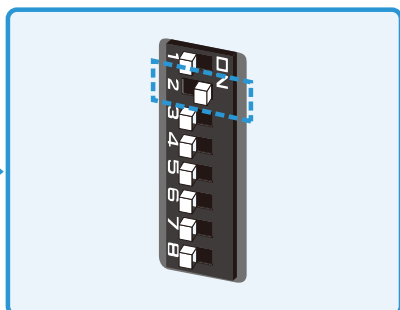
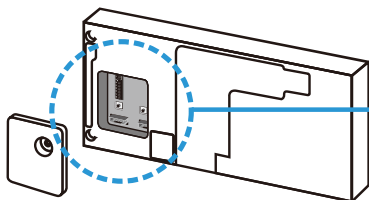
アドレス番号:2 回路:2の場合



おねがい

器具側(無線調光ユニット)には、アドレス番号に加え自身の属する回路番号を定めます。

● 無線コントローラ側のディップスイッチ部（例）



アドレス番号:2の場合

■アドレスに「システムID」を加え確実な紐付けを行います



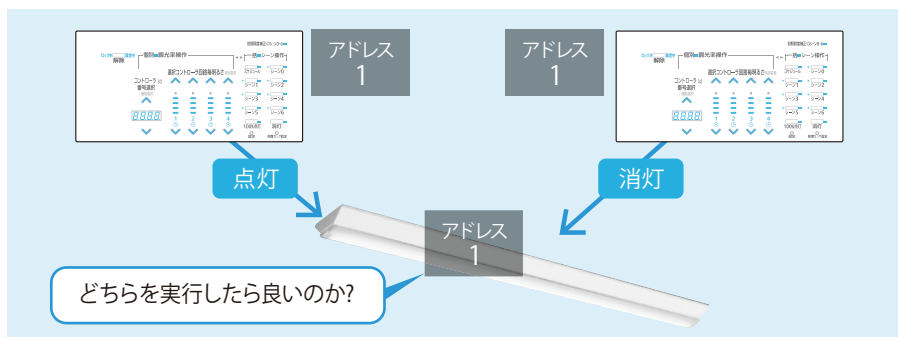
おねがい システムID設定は必ず必要です

コントローラと照明器具に搭載された無線調光ユニットには、ディップスイッチ操作によって、必ず「1」～「10」いずれかの無線アドレス番号が与えられており、無線操作対象器具の識別を行います。

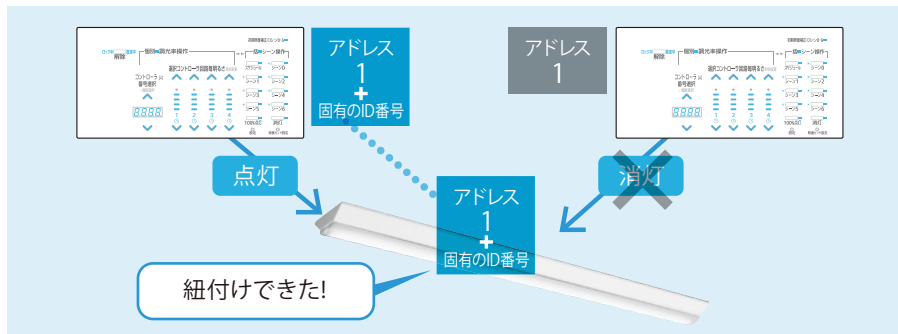
しかし、自器と同じ無線アドレスを持つコントローラが、周囲に2台以上存在すると器具はどのコントローラからの命令を受ければ良いか判断できず、誤作動します。（遠方に設置された同一アドレスの対象外コントローラから、何らかの原因で器具に電波が届いたり、将来の近隣エリア工事時に、他事業者によって同一アドレスのコントローラが設置されるケースなどが考えられます。）

システムIDは、コントローラ個体が持つ一つ一つ異なった独自の番号です。この固有のID番号を1～10のアドレス番号に加えて器具に与えることで、以後他のコントローラの命令による誤作動を防ぐための初期設定作業が「システムID設定」となるため、必ず行ってください。

アドレス設定のみ

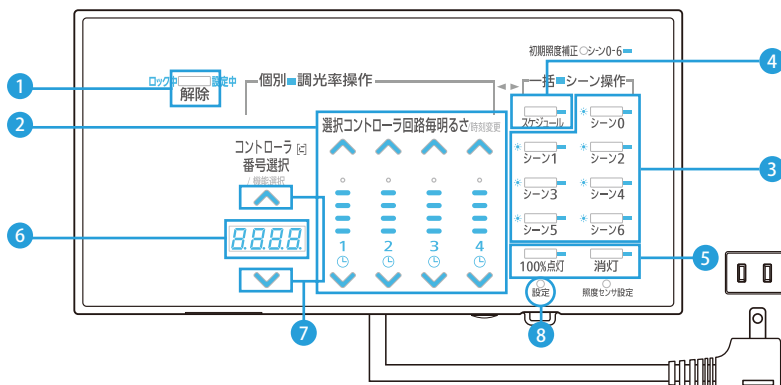


システムID設定付与



■コントローラ各部の名称と働き

製品表面



① 解除ボタン

ロック中の解除に使用します。設定中は設定の取り止めに使用します。

② 回路毎調光率変更ボタン

上下ボタンに触れる事で回路(1~4)の調光率を個別に変更します。調光率レベルはインジケータに表示されます。

〈調光率 表示レベル〉	
調光率	表示
100%	●
76~99%	■
51~75%	■
26~50%	■
1~25%	■
0%	■

③ シーンボタン

シーンを実行するために使用します。工場出荷時は以下のシーンが登録されています。

No.	項目	初期値						
		シーン0	シーン1	シーン2	シーン3	シーン4	シーン5	シーン6
1	目標調光率(回路①)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%
2	目標調光率(回路②)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%
3	目標調光率(回路③)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%
4	目標調光率(回路④)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%

④ スケジュール入/切ボタン

スケジュールを実行/停止するために使用します。スケジュール運転中は「スケジュール表示 」が点灯します。

⑤ 100%点灯ボタン・消灯ボタン

制御している全ての回路の100%点灯・消灯を行います。

⑥ 7セグメント表示

調光率、時刻、モードを表示します。

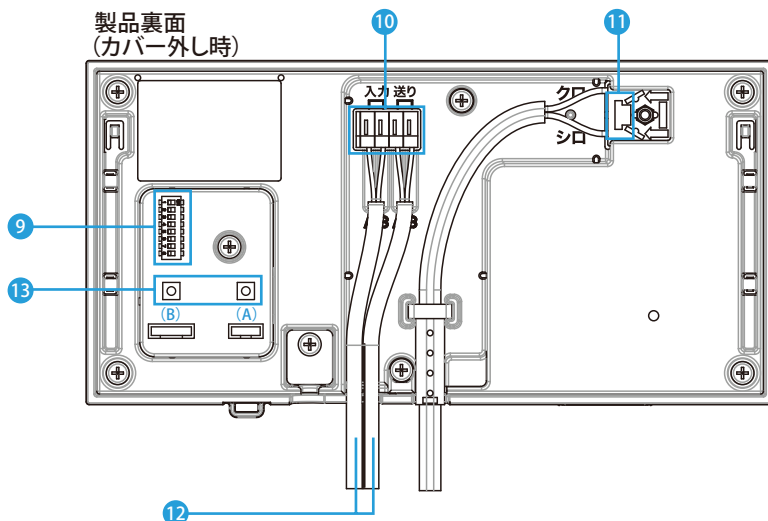
⑦ コントローラ番号選択上下ボタン

コントローラの番号や調光率、色温度、時刻などを表示します。

⑧ 設定ボタン

本器の設定を行います。

製品裏面

**9 無線アドレススイッチ**

照明器具を無線で制御するための無線アドレスの設定に使用します。無線アドレスがコントローラ番号となります。

10 通信線端子台

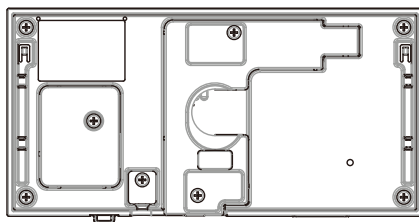
他のコントローラから通信線を接続するために使用します。

11 電源端子台

電源線を接続するために使用します。

12 通信線

他のコントローラと接続を行う場合に使用します。単独でご利用頂く場合は使用しません。

製品裏面
(カバー有り時)**13 リセットボタン**

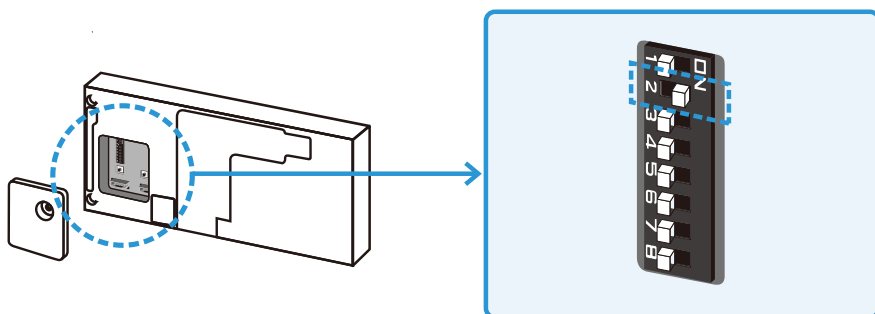
内部のマイコンをリセットする場合に使用します。右側(A)が、コントローラ用のリセットボタンです。左側(B)が、表面パネル用のリセットボタンです。

■ 無線コントローラと無線調光ユニットのディップスイッチを操作します

コントローラと器具に搭載される無線調光ユニットの「ディップスイッチ」を、精密ドライバー等を使用し操作、アドレス及び回路番号の割り付けを行います。コントローラ側、及びその制御対象となる照明器具側のアドレスを合致させます。

① 無線コントローラのアドレス番号を設定します

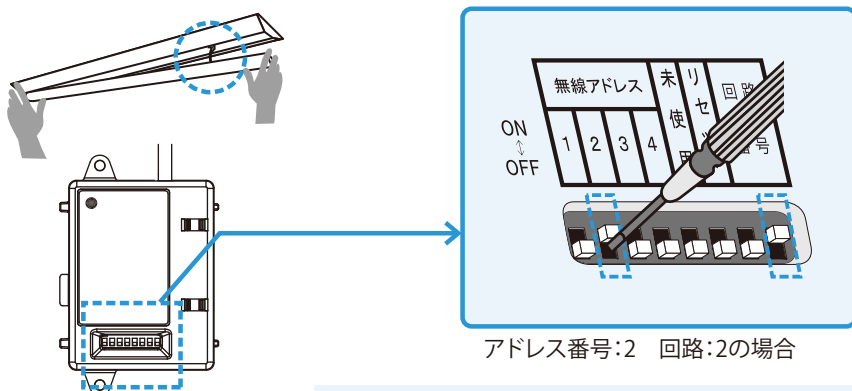
無線コントローラ側のディップスイッチ部 (例)



アドレス番号:2の場合

② 無線調光ユニットのアドレス番号・回路番号を設定します

照明器具側に搭載された無線調光ユニットのディップスイッチ部 (例)



アドレス番号:2 回路:2の場合




おねがい

器具側(無線調光ユニット)には、アドレス番号に加え自身の属する回路番号を定めます。

○無線アドレス番号 (コントローラ番号) 設定一覧



工場出荷時は「無線アドレス=1」に設定されています。



OFF	ON
1	<input checked="" type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>

1	ON
2	OFF
3	OFF
4	OFF
5	—
6	—
7	—
8	—

無線アドレス 1

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	ON
2	OFF
3	OFF
4	OFF

(工場出荷時の設定)

無線アドレス 2

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	OFF
2	ON
3	OFF
4	OFF

無線アドレス 3

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	OFF
2	OFF
3	ON
4	OFF

無線アドレス 4

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	OFF
2	OFF
3	OFF
4	ON

無線アドレス 5

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	ON
2	OFF
3	OFF
4	ON

無線アドレス 6

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

無線アドレス 7

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

無線アドレス 8

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	ON
2	OFF
3	ON
4	ON

無線アドレス 9

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

1	OFF
2	ON
3	ON
4	ON

無線アドレス 10

OFF	ON
1	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>
3	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>

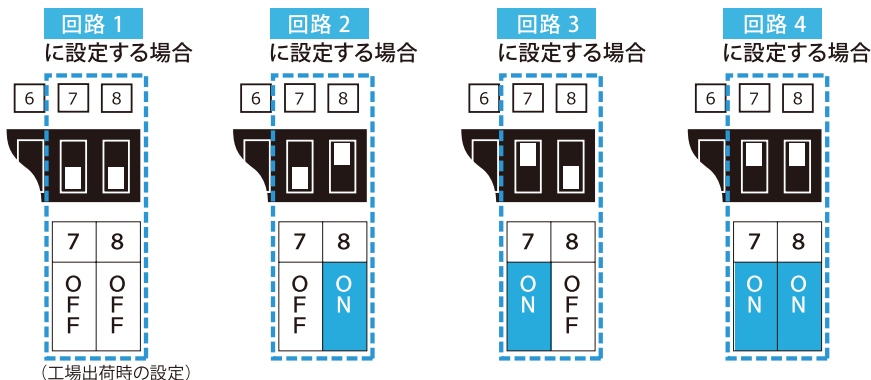
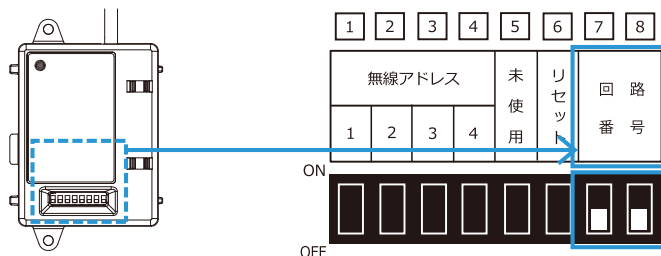
1	ON
2	ON
3	ON
4	ON

○回路の設定方法

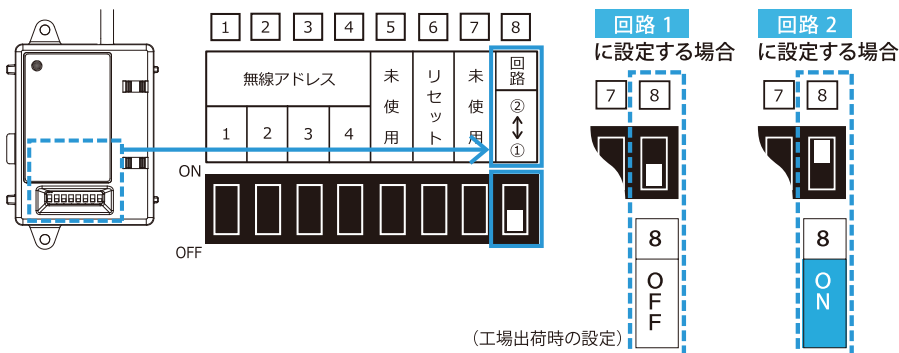
全ての無線調光ユニットで回路を設定します。(p.4「『回路』とは何ですか?」)
明るさを変えたい器具群毎に回路番号を設定してください。
回路の設定は無線調光ユニットにある「ディップスイッチ」で行います。

無線調光ユニット

4回路の場合 回路の設定では右端2つのスイッチ (7・8) のみを使用します。

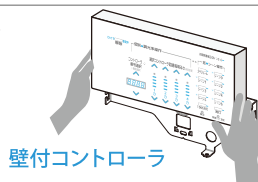


2回路の場合 回路の設定では右端のスイッチ (8) のみを使用します。



③コントローラの施工

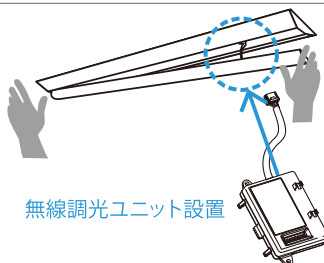
無線アドレス設定が終わったコントローラを取り付けます。取扱説明書に記載された方法に従ってください。



壁付コントローラ

④無線調光ユニットの取り付け

無線アドレスと回路の設定が終わった無線調光ユニットを、照明器具に取り付け、施工します。無線調光ユニットの取付方法詳細については、それぞれの製品に同梱されている取扱説明書をご覧ください。



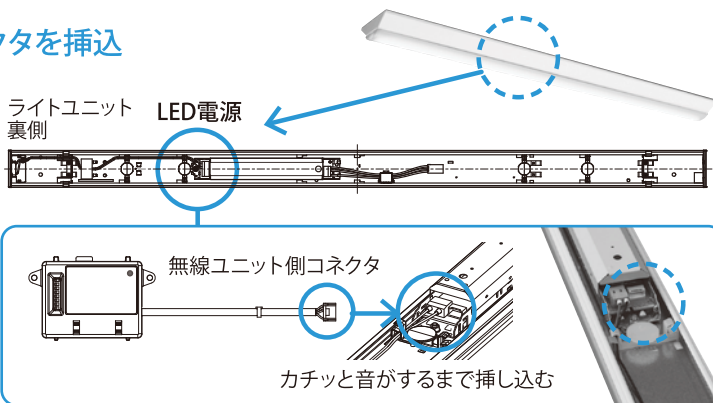
無線調光ユニット設置

○各機種における無線調光ユニットの取り付け例

MY LEDライトユニット形 ベースライト シリーズの場合

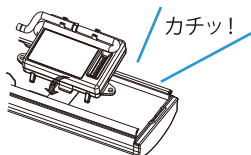
ライトユニット裏側にある、LED電源側面のコネクタに無線調光ユニット側のコネクタをカチッと音がするまで挿し込みます。コネクタ接続後は、無線調光ユニットをライトユニットに固定してください。

1. コネクタを挿込



2. 無線ユニットを固定

コネクタを挿した無線調光ユニットのツメをライトユニット板金の切欠に挿し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。



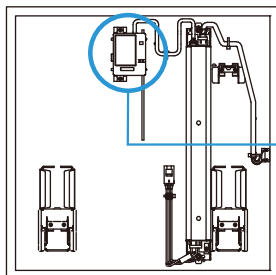
MY^{LEDライトユニット形 ベースライト}シリーズ [パネルタイプ] の場合

Myシリーズ [パネルタイプ] については無線調光ユニットがライトユニットに取り付けられた状態で出荷されます。

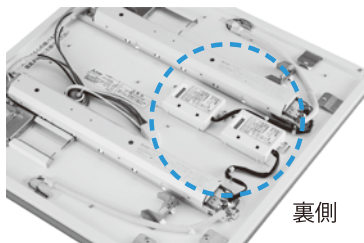
無線調光ユニットの取り付け作業は不要です。

無線調光ユニット1台搭載タイプ

裏側

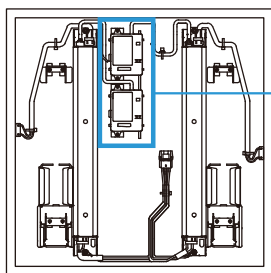


無線調光ユニット



無線調光ユニット2台搭載タイプ

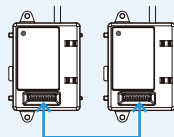
裏側



おねがい

無線調光ユニットは、1台搭載と2台搭載の2タイプがあります。

無線アドレス、回路を2台とも同じ番号に設定してください。



GT

LED高天井用ベースライト

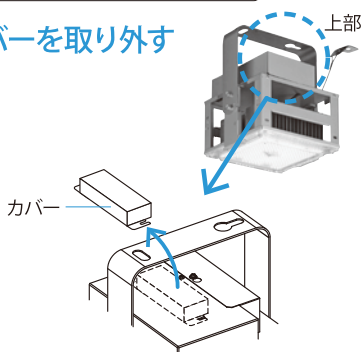
シリーズ の場合

本体上部にあるカバーをはずし、コネクタに無線調光ユニットコネクタをカチッと音がするまで挿し込んでください。

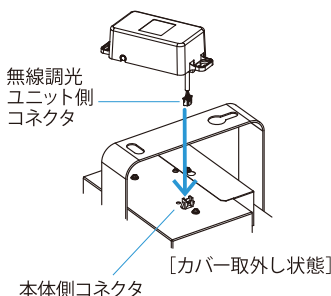
コネクタを挿し込んだあとは、無線調光ユニットを付属のビスで本体に固定します。

無線調光ユニット1台搭載タイプ

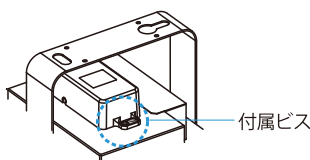
1. カバーを取り外す



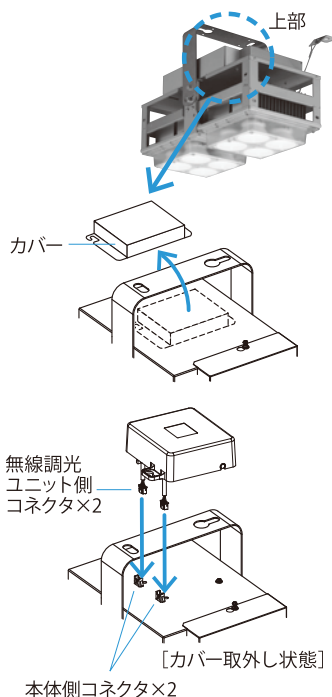
2. コネクタを挿込



3. 無線ユニットを固定



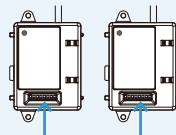
無線調光ユニット2台搭載タイプ



おながい

無線調光ユニットは、1台搭載と2台搭載の2タイプがあります。

無線アドレス、回路を2台とも同じ番号に設定してください。



■無線システムID設定を行います

①ID設定時には、施設内にある同一無線アドレス器具の電源を切る

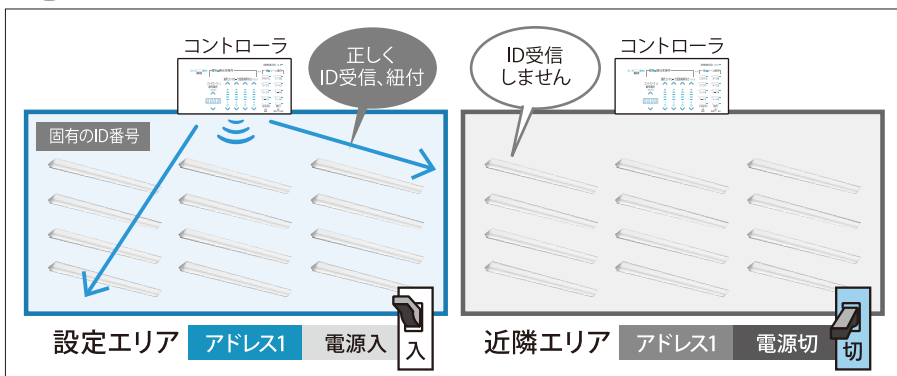
「無線システムID」(p.6)の設定を行います。コントローラと、その操作対象とする器具の紐付けを行うための作業で、必ず行ってください。

システムID設定の指令は、そのとき電源がONになっている、同一無線アドレスの全ての照明器具で受信されます。

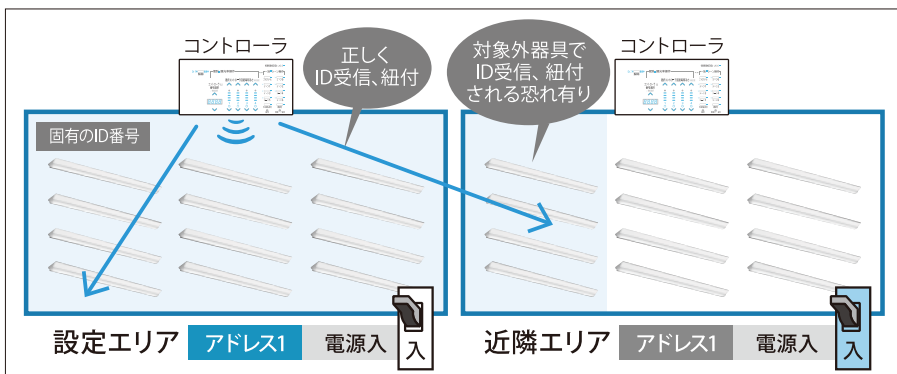
指示を行う無線は広範囲に到達するので、他の部屋で作動している器具に無線指示が届き、間違って紐付けがされる恐れがあります。このため「システムID設定」を行う際は、同一アドレスで、まだシステムID設定がされていない (ID設定情報が空の) 設定対象外となる、全ての照明器具の電源を必ず切ってください。



対象外の器具がシステムID設定の電波を受信してしまわないよう、同一アドレスの対象外器具の電源は切る。



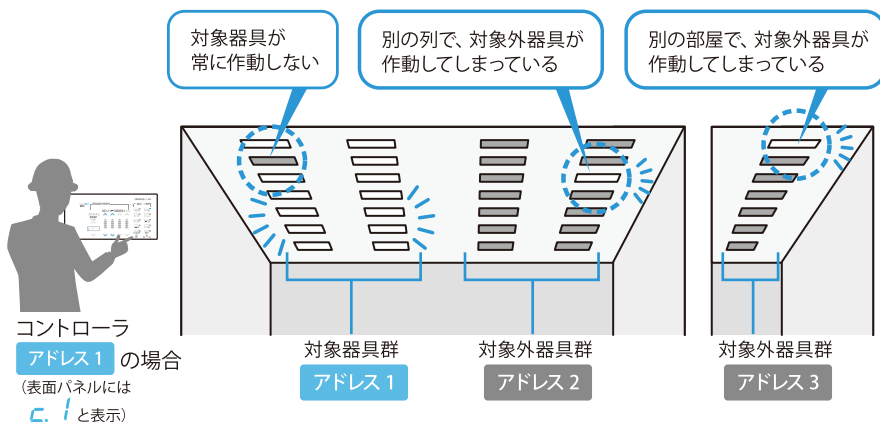
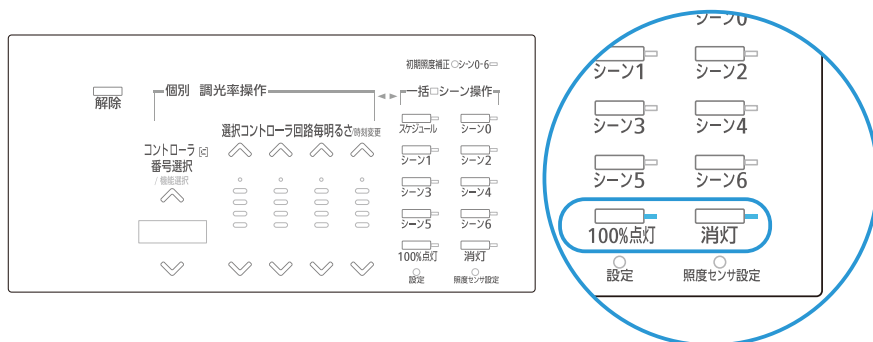
対象外のエリアで同一アドレスの器具の電源が入っていると、誤って紐付けがされる。



②コントローラの、照明をON/OFFし対象器具を確認する

システムIDが誤った器具に振られることを防ぐため、コントローラが操作対象とする（コントローラと同じ無線アドレスの）器具が正しく設定され、点灯・消灯できるかチェックします。

コントローラ操作で、全灯・消灯操作を行って下さい。
対象となる器具群が正しく点滅するか目視で確かめます。



お知らせ

調光の不具合が確認された場合、「無線アドレス」が正しく設定されず施工されている可能性があります。該当するコントローラと照明器具の無線調光ユニットのディップスイッチが合っているかを確認し、都度修正作業を行ってください。(p.9)

③ コントローラから照明器具へシステムIDを送信する

②で確認したコントローラと対象器具の紐付けを確定させる。



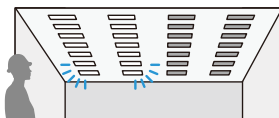
先に「解除」ボタンを押しながら「設定」ボタンを長押し(1.5秒以上)して、同時に離す。



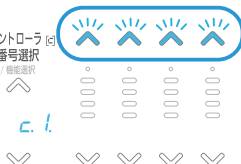
「設定」ボタンは精密ドライバー等、先の細いもので押してください。



100%点灯と5%点灯を繰り返す器具が無線システムIDの設定対象となります。誤った器具が点滅している場合、「解除」ボタンを押し操作を取り止めます。



コントローラ
番号選択
/ 機能選択



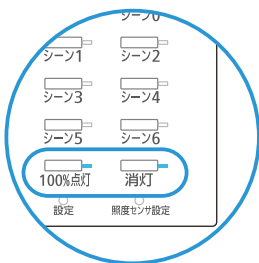
その後、回路1「上ボタン」、回路2「上ボタン」、回路3「上ボタン」、回路4「上ボタン」4つのボタンを1つずつすべて押してください。

コントローラのシステムIDが照明器具に送信されます。



建物の電波・障害物の状況により、無線が一時的に器具に届きにくいことがあるため、本操作を3度以上行ってください。

④ もう一度②と同じ手順でID設定後のコントローラが正しく作動しているか確認する



コントローラ操作で、全灯・消灯操作を行って下さい。対象となる器具群が正しく点滅するか目視で確かめます。

正しく点灯していない場合、システムIDが何らかの理由で設定されなかった可能性があります。再度③のID設定を行ってください。

お知らせ

対象器具にシステムIDが振られると、同時にコントローラもIDとの関連付けがなされるので、IDを設定したコントローラはIDの振られていない器具を操作できなくなります。

基本設定

運用を開始するために、基本設定を行います。

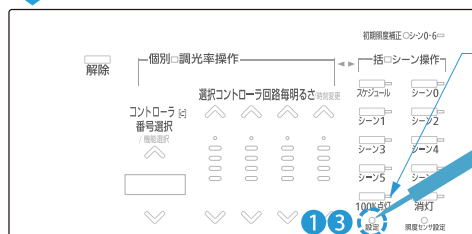
設定の流れ

- 1 現在時刻の設定 ———— 現在時刻を入力します。
- 2 7つのシーン調光率設定 ———— 調光操作で部屋の明るさを見ながら7シーンを登録していきます。
- 3 7つのシーン開始時刻設定 ———— 各シーンの開始時刻を登録します。
(スケジュール運転を行いたい場合のみ)



各設定は、次の設定に移るため「設定」ボタンを押しながらひとつひとつ、入力を進めてください。
設定中は、次に押すべきボタンが点滅し、ガイドします。

1 現在時刻の設定



- 1 「設定」ボタンを短く押します。



「設定」ボタンは精密ドライバー等、先の細いもので押してください。

- 2 LED表示に、「CLOC.」と現在時刻が交互に表示されます。

23時00分は「23.00」と表示されます。

23 : 00 → **23.00** と表示

点滅している上下ボタンをタッチして、現在の時刻を合わせます。長押しで、時間は早く進みます。

- 3 時刻合わせが完了したら、「設定」ボタンを細いドライバー等で押し、次の設定
2 「7つのシーン調光率設定」に進みます。



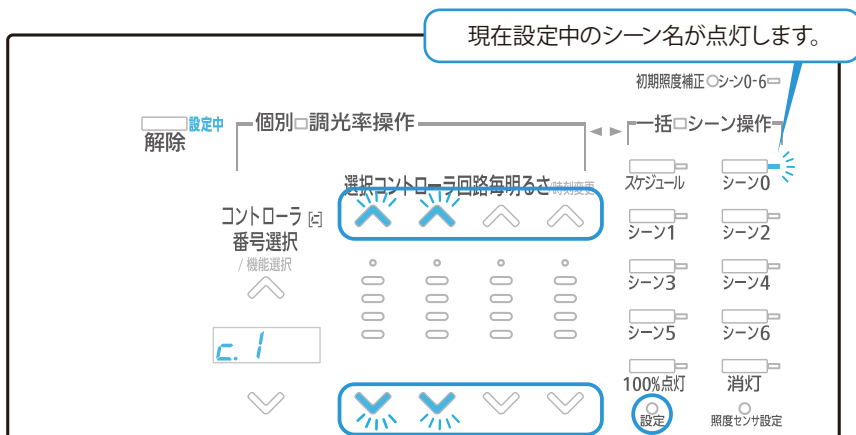
「設定」ボタンを長押(1.5秒以上)し、左の表示となったときは「解除」ボタンを押し①を再度行ってください。

基本設定

2 7つのシーン調光率設定

初期のシーン設定表 (工場出荷時)

No.	項目	初期値						
		シーン0	シーン1	シーン2	シーン3	シーン4	シーン5	シーン6
1	目標調光率(回路①)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%
2	目標調光率(回路②)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%
3	目標調光率(回路③)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%
4	目標調光率(回路④)	100%	5%	25%	50%	75%	100%	0%



- 1 設定を行うシーン名「シーン0」表示が点灯します。
- 2 点滅している「上」「下」ボタンをタッチしてシーンの照明をお好みの明るさに調整し「設定」ボタンを押すと、その明るさで「シーン0」調光率登録が完了し、自動的に次の「シーン1」の調光率設定に進みますので引き続き登録を行います。
- 3 「シーン0」から「シーン6」までを順に行います。「シーン6」の明るさ調整を終え「設定」ボタンを押すと 3 7つのシーン開始時刻設定に進みます。

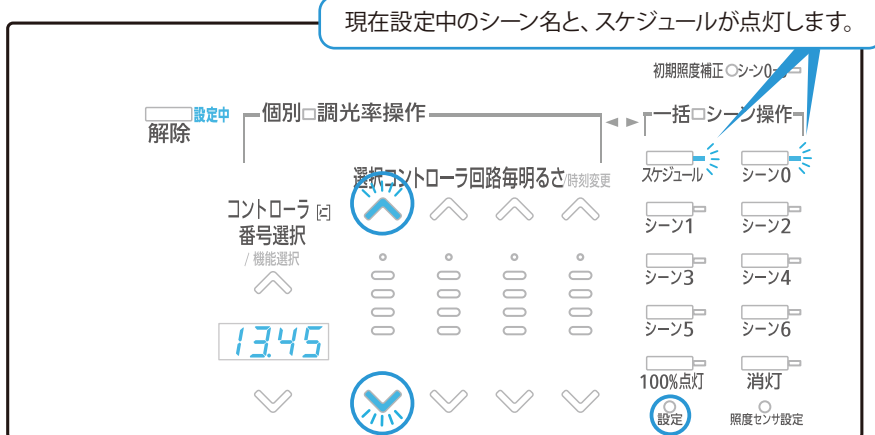



例えば、必要シーンが2つでも7つのシーン設定となりますが、再設定不要な場合は「設定」ボタンを押せば、すでに入力されたシーンを変更することなく、次のシーンに進めます。



「設定中」点灯LEDの左側「解除」ボタンを押すと設定を破棄し取り止めることができます。また設定中3分間無操作が続くと、同じく設定は破棄されます。

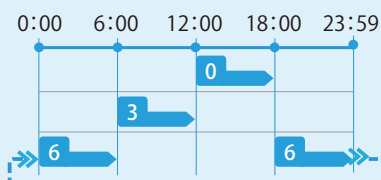
3 7つのシーン開始時刻設定



- 1** 設定を行う「シーン0」「スケジュール」表示が点灯します。点滅している「上」「下」ボタンをタッチしてシーン開始時刻 **0000** ~ **2359** (LED表示画面) を入力します。シーンをスケジュール運用しないときは、**- - - -** のままとします。すでに時刻が入力された状態では、時刻 **0000** から、さらに「下」ボタンを押すと、**- - - -** (設定なし) になります。
- 
- The diagram illustrates the process of setting a scene start time. It shows a control panel with a display and four buttons (Up, Down, Left, Right). The display initially shows '0000'. An arrow points to the same panel where the display now shows '- - - -'. A blue circle with a downward arrow indicates the 'Down' button press.
- 2** シーンの開始時刻が決まったら「設定」ボタンを押すと、その時刻で「シーン0」開始時刻が完了し、自動的に次の「シーン1」開始時刻設定に進みますので、引き続き、登録を行ってください。

シーン0,3,6に開始時刻を設定した例

シーン名	開始時刻	シーン名	開始時刻
		シーン 1	--:--
シーン 0	12:00	シーン 2	--:--
シーン 3	05:00	シーン 4	--:--
シーン 6	18:00	シーン 5	--:--



- 3** 「シーン0」から「シーン6」までを順に設定します。「シーン6」の開始時刻設定を終え「設定」ボタンを押すと、基本設定すべての作業が完了します。

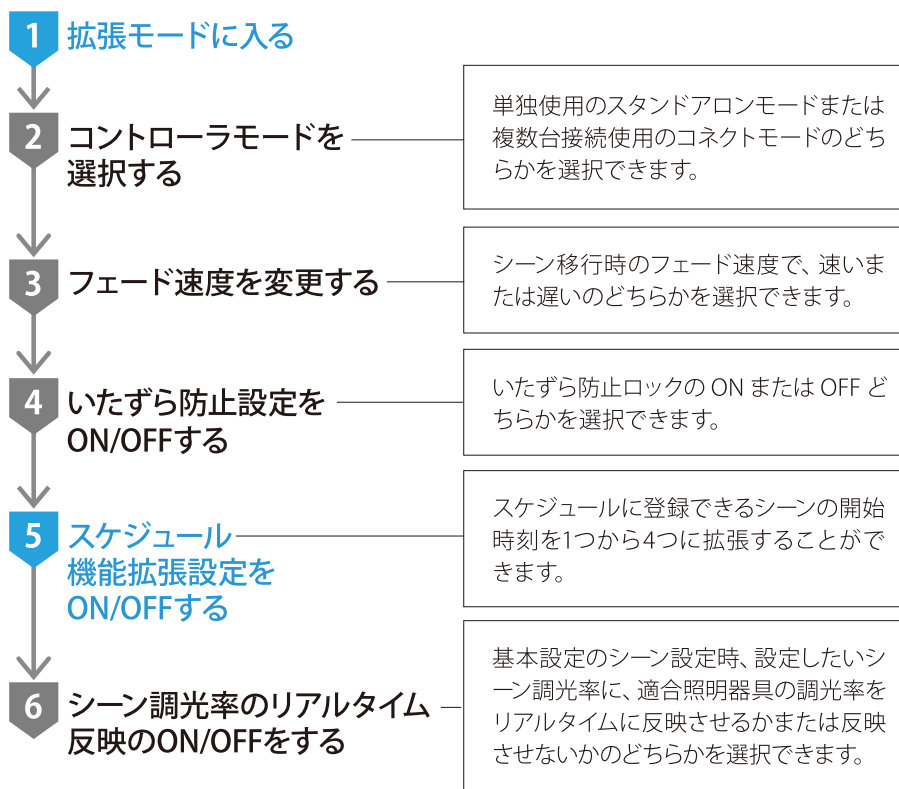
■ 拡張設定を行う（必要時・任意）

さらに基本設定には含まれない拡張設定をご利用いただくことも可能です。



本ガイドでは一部の機能をご紹介します。
詳細は取扱説明書をご覧ください。

設定の流れ



おねがい

各設定は、次の設定に移るため「設定」ボタンを押しながらひとつひとつ、
入力を進めてください。
設定中は、次に押すべきボタンが点滅し、ガイドします。

1 拡張設定モードに入る



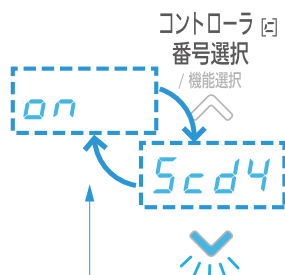
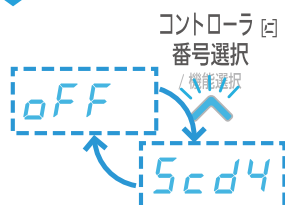
ロック中または個別・調光率操作中/一括シーン操作中に「設定」ボタンを1秒以上長押し、離します。



「設定」ボタンは精密ドライバー等、先の細いもので押してください。

2 → 3 → 4 は本ガイドでは割愛します。「設定」ボタンを押して次の設定に進んでください。

5 スケジュール機能拡張設定を使用する



通常、スケジュールに登録できるシーンの開始時間は1つですが、スケジュール機能拡張をONにすると、スケジュールに登録できるシーンの開始時刻は最大4つまで割当てることができます。7つのシーンに対し合計10の開始時刻が最大割当てです。

「コントローラ番号選択」ボタンをタッチして、スケジュール機能拡張設定ON/OFFを選択します。

●スケジュール機能拡張設定ON/OFF 選択

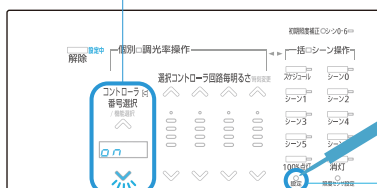
スケジュール機能拡張設定ON/OFFのどちらかを選択します。

●スケジュール機能拡張設定ON

スケジュールに各1シーン、最大4つの開始時刻を設定できます。

●スケジュール機能拡張設定OFF

スケジュールに各1シーン、1つの開始時刻を設定できます。



「設定」ボタンを押します。

6 は本ガイドでは割愛します。「設定」ボタンを押すと一連の設定作業が完了します。

照明器具の操作

呼び出し・調光操作のあらし

左側のボタンでは個別に回路を選んでの明るさ調節、
右側のボタンでは全ての照明一括でのシーン操作を行います。



個別・調光率操作

コントローラ選択調光率操作

個別の回路を選んで調光します。

明るさ調節

明るさのめやす

100 %	
76-99 %	
51-75 %	
26-50 %	
1-25 %	

(個別調光率操作) 左側

一括・シーン操作

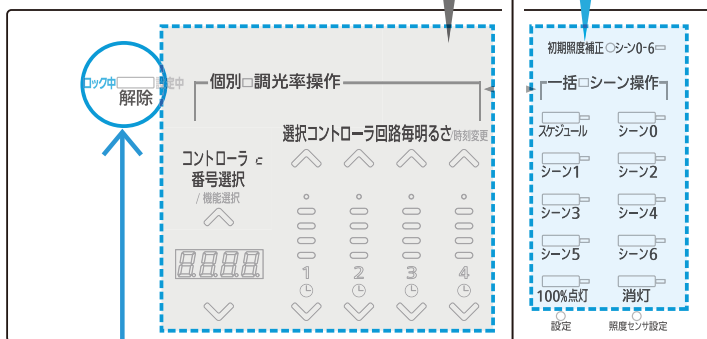
シーン呼出し

設定で登録したシーンを
シーンボタンで再現します。

スケジュール運転

設定で登録したシーンに、
開始時刻を割り当て、24時
間周期の繰返しサイクルで
スケジュール運転させるこ
とができます。

右側 (一括シーン操作)



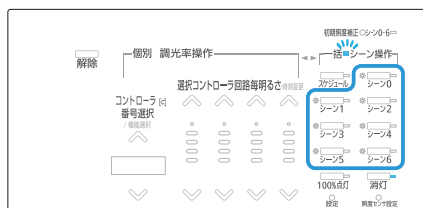
左右の
ブロックで
操作が分かれて
います。

●最初にロック解除が必要

最初に「解除」ボタンを押して、ロック中を解除します。

● 設定したシーンを呼び出す (右側・一括シーン操作)

実行したいシーンの「シーン」ボタンをタッチする。



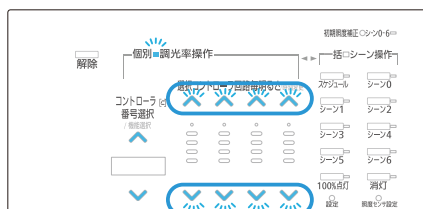
選択したシーンが実行され、「シーン表示」が点灯します。

(例)



● 回路毎に明るさを手動で変える (左側・個別調光率操作)

明るさを変えたい回路番号の「上下」ボタンをタッチする。



明るさ調節の例

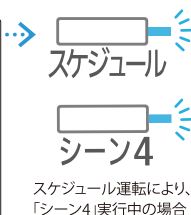
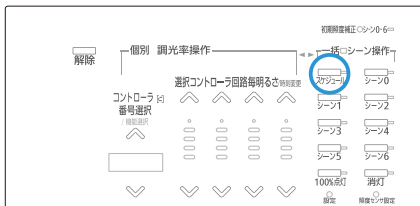
回路4の明るさを調節する

選択コントローラ回路毎明るさ/時刻変更



● スケジュール運転を行う

「スケジュール」ボタンをタッチする。



スケジュール運転状態となり、現在時刻に該当するシーンが自動で実行され、「スケジュール表示」が点灯します。スケジュールが登録されていない場合は「スケジュール表示」が点滅し、エラーとなります。

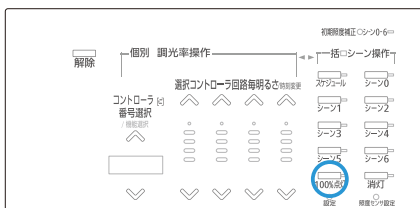
お知らせ

スケジュール通りに動かない

→「基本設定」(p.18)を再度行い、現在の時刻とシーン開始時刻の確認・設定を行ってください。

● 全ての照明を最大の明るさで点灯させたいとき

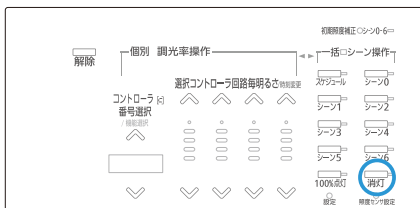
「100%点灯」ボタンをタッチする。



全ての照明が最大の明るさで点灯し、「100%点灯表示」が点灯します。

● 全ての照明を消灯させたいとき

「消灯」ボタンをタッチする。



全ての照明が消灯し、「消灯表示」が点灯します。

故障かな? と思ったら

p.9～p.17の設定を終えても点灯しない器具があるときは
下記の手順で確認と処置を進めてください。

確認内容

1 コントローラの通電を確認します (p.27)



●LEDインジケータの点灯を確認

問題無し

処置

チェック・処置内容

コントローラへの給電

2 コントローラと器具間の接続を確認します (p.27)



●点滅の抜けがないか確認
(消えたまま/ついたまま)
●対象外場所での点滅が無い確認

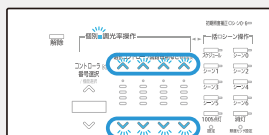
問題無し

処置

無線コントローラ + 無線器具

- 1 照明器具への給電
- 2 無線調光ユニットへの給電
- 3 器具のアドレスと、無線調光ユニットのアドレス
- 4 無線システムIDの設定
- 5 コントローラ無線到達範囲

3 コントローラの回路設定を確認します (p.33)



●接続された全ての回路が
明るさ調整できるか確認

問題無し

処置

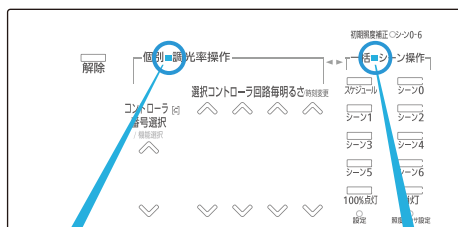
無線コントローラ + 無線器具

無線調光ユニットの回路番号

完了

1 コントローラの通電を確認します

コントローラの通電を示すLEDが点灯しているかを目視確認してください。
点灯が確認できないときは、コントローラへ正しく給電するよう施工を行ってください。

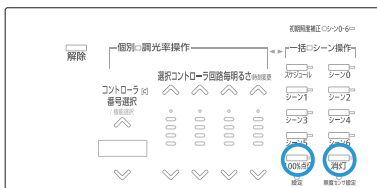


「個別調光率操作」または「一括シーン操作」

2 コントローラと器具間の接続を確認します

最初に、対象器具の点灯・消灯確認を行います。正しく点滅しないときは、チェックと処置を行うため ① ② ③ ④ ⑤ (p.28-p.31) に進んでください。

「100%点灯」ボタンと「消灯」ボタンを交互に押し、コントローラの対象となる照明器具群が正しく点滅するか目視で確認します。



■ 誤ったアドレス設定がされている場合の点灯例

対象器具が常に作動しない

別の列で、対象外器具が作動してしまっている

別の部屋で、対象外器具が作動してしまっている



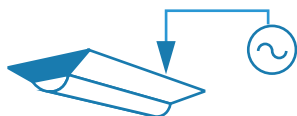
コントローラ
アドレス1の場合
(表面パネルには
C. / と表示)

対象器具群
アドレス1

対象外器具群
アドレス2

対象外器具群
アドレス3

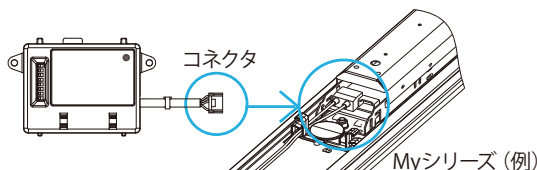
① 照明器具への給電をチェックする



照明器具への電源を確認し、接続不良の箇所があれば正しく給電してください。

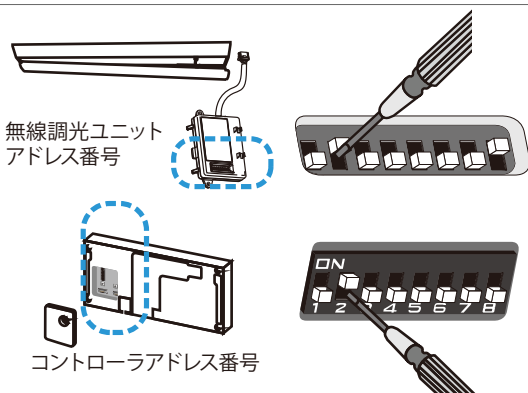
なお照明器具に正しく給電された状態であれば、調光信号を送出する壁付形・天井埋込形コントローラの電源のみを落としたとき、照明器具は調光されず100%で点灯します。

② 無線調光ユニットへの給電をチェックする



無線調光ユニットの取り付けを確認し、コネクタ等接続不良の箇所があれば正しく給電してください。

③ 器具のアドレスと、無線調光ユニットのアドレスをチェックする



コントローラのアドレス番号と、対象器具に搭載された無線調光ユニットのアドレス番号が同一になっているか、ディップスイッチを目視確認し、異なっている場合は合致させてください。

「『アドレス』とは何ですか？」

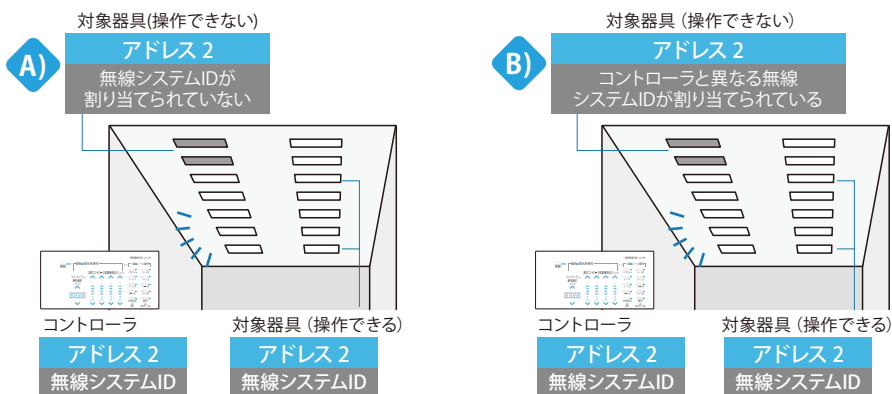
p.3へ

「『アドレス』『回路』の番号設定は機器のスイッチ操作で行います」

p.5へ

④ 無線システムIDの設定

コントローラと器具のアドレスが合致していても特定の器具が操作できない場合、コントローラと器具の「無線システムID」が合致していない可能性があります。



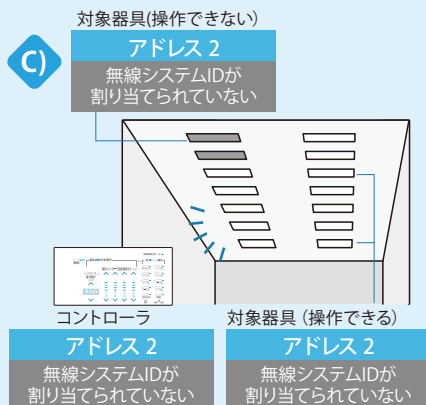
「無線システムID」の不一致には、A)B)2つのケースが考えられますが、動作不良の場合A)B)どちらの可能性もあるため、次の処置を行います。

- ① 操作できない無線調光ユニットの「無線システムID」をリセットする (p.30)
- ② 操作できない無線調光ユニットへ「無線システムID」を再度割り当てる (p.32)
- ③ 操作できるか点灯・消灯を確認する (p.32)



おねがい

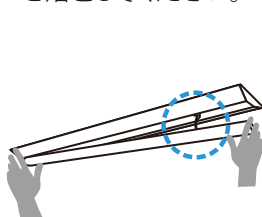
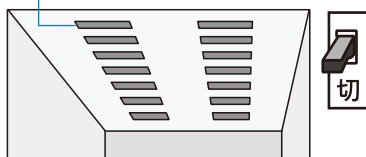
右図C)のようにコントローラ・すべての無線調光ユニットに、無線システムIDが未割当のとき、ケースA)B)に示すID不一致による操作障害は起きません。無線範囲が原因である可能性があるため、先に⑤ (p.32) をチェックしてください。但し、⑤ 項の処置で問題が解消された場合でも、そのまま無線システムIDを割り当てないまま使うことはせず、正常動作確認の後、無線システムIDの設定は必ず行ってください。



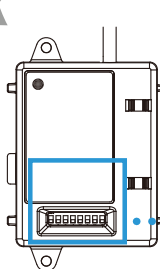
①操作できない無線調光ユニットの「無線システムID」をリセットする

リセット対象となる照明器具の電源を切ります。この際はコントローラによる0%調光制御（消灯）ではなく、電灯電源自体を落としてください。

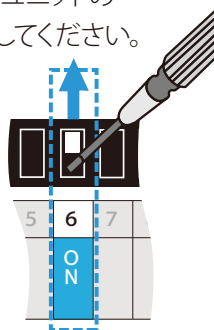
対象器具(操作できない)



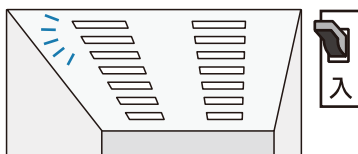
リセット対象となる器具の無線調光ユニットの「リセット」ディップスイッチをONにしてください。



1	2	3	4	5	6	7	8
無線アドレス				未使用	リセット	回路番号	
1	2	3	4				
ON							
OFF							



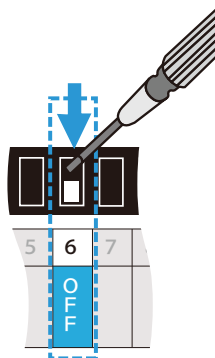
リセット対象となる照明器具の電源を入れ、3秒以上待ちます。この時点で無線調光ユニットの「無線ID」がリセットされます（既にあるIDが消去されて、空になります）。



リセット対象となる照明器具の電源を切ります。



無線調光ユニットの「リセット」ディップスイッチを通常通りOFFに戻します。これで本操作は完了し、次の手順で無線システムIDを再び割り当てます。





おねがい

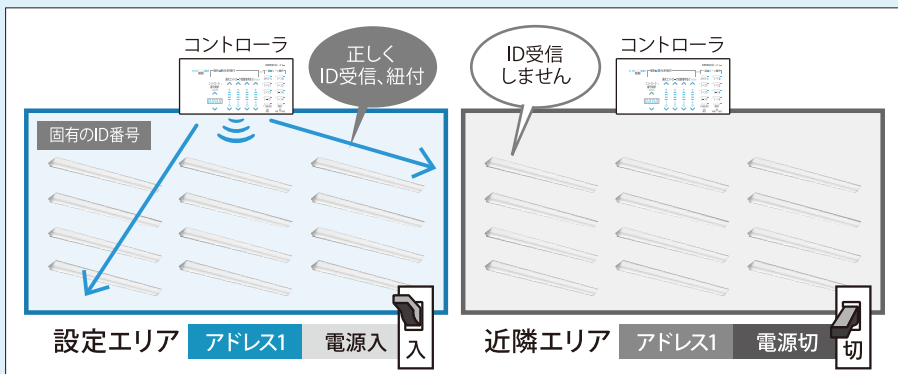
ID設定時、施設内に同一無線アドレスの器具がある場合は電源を切る

システムID設定の指令は、そのとき電源がONになっている、同一無線アドレスの全ての照明器具で受信されます。

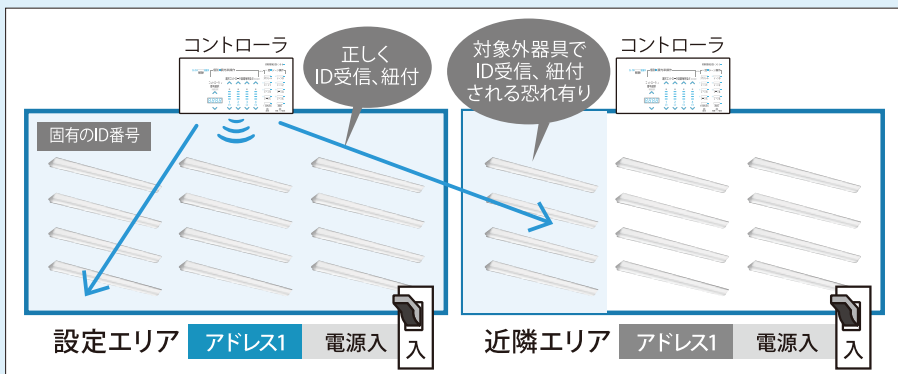
指示を行う無線は広範囲に到達するので、他の部屋で作動している器具に無線指示が届き、間違って紐付けがされる恐れがあります。このため「システムID設定」を行う際は、設定対象となる器具以外の、同一アドレスで、まだID設定のされていない (ID設定情報が空の) 全ての照明器具電源を必ず切ってください。



対象外の器具がシステムID設定の電波を受信してしまわないよう、同一アドレスの対象外器具の電源は切る。

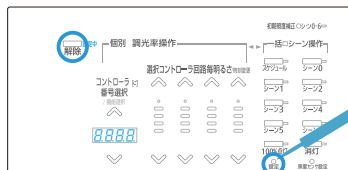


対象外のエリアで同一アドレスの器具の電源が入っていると、誤って紐付けがされる。



②操作できない無線調光ユニットへ 「無線システムID」を再度割り当てる

接続を確認したコントローラと対象器具の紐付けを確定させる。



先に「解除」ボタンを押しながら「設定」ボタンを長押し(1.5秒以上)して、同時に離す。

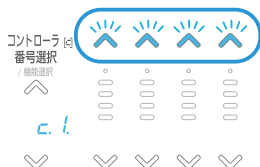


おねがい

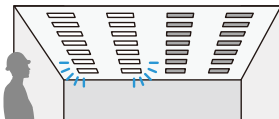
「設定」ボタンは精密ドライバー等、先の細いもので押してください。



100%点灯と5%点灯を繰り返す器具が無線システムIDの設定対象となります。



その後、回路1「上ボタン」、回路2「上ボタン」、回路3「上ボタン」、回路4「上ボタン」をすべて押してください。コントローラのシステムIDが照明器具に送信されます。



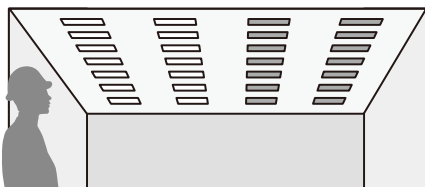
おねがい

建物の電波・障害物の状況により、無線が一時的に器具に届きにくい事があるため、本操作を3度以上行ってください。

③操作できるか点灯・消灯を確認する

正常な操作ができなかった無線調光ユニットに無線システムIDが再設定されれば、既に対象コントローラの無線システムIDが割り当てられた、他の器具と一体となって作動するようになります。

「100%点灯ボタン」「消灯ボタン」を交互に押し、コントローラの対象となる照明器具群が正しく点灯するか目視で確認します。正しく点灯・消灯しない時は、次項⑤無線到達範囲を確認します。



⑤コントローラ無線到達範囲を確認する

「コントローラの取付場所について」

p.2へ

取扱説明書に記載されている無線範囲を確認し、無線範囲に器具を配置してください。

「無線中継器兼PWM変換器 (MS406) の活用例」

p.34へ

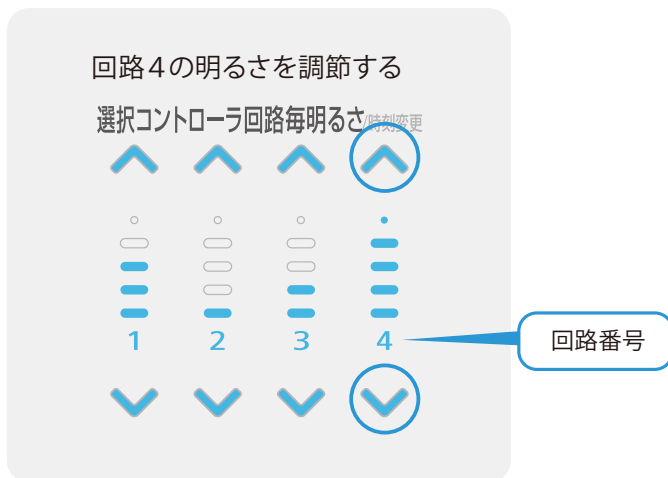
無線範囲の中で電波が届きにくい箇所には、無線中継器兼PWM変換器 (MS406) を使用することができます。

3 コントローラの回路設定を確認します

回路毎に明るさを手動で変え（左側・個別調光率操作）、各回路が操作できるか確認してください。特定の回路が操作出来ない場合は次のチェックと処置を行います。

○コントローラ、無線調光ユニットの回路番号をチェックする（本ページ）

回路4器具群 明るさ調節の例



○無線調光ユニットの回路番号をチェックする

「回路の設定方法」

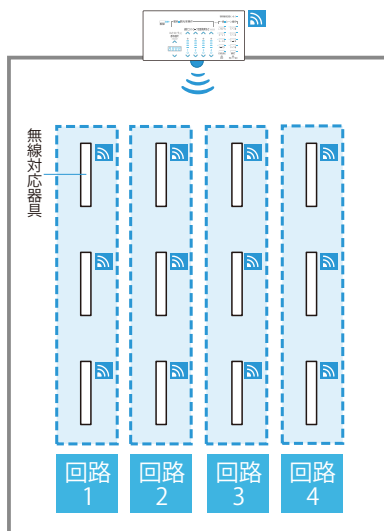
p.11へ

無線中継器兼PWM変換器 (MS406) の活用例

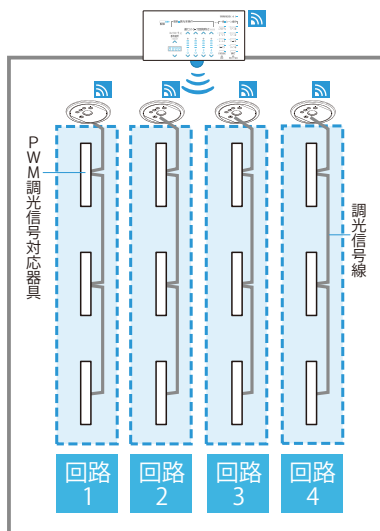
PWM変換器としての使用

無線コントローラからPWM調光信号対応器具を調光します。

無線調光機能対応器具を使用する場合



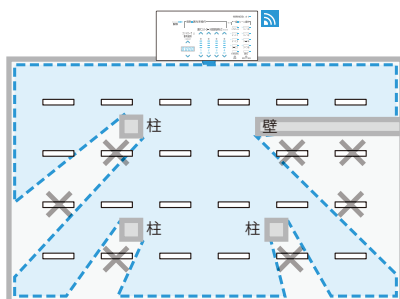
PWM 調光信号対応器具を使用する場合



無線中継器としての使用

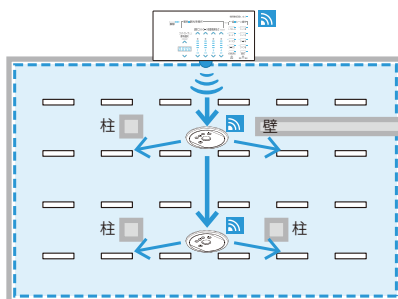
無線通信範囲内に障害物などがある場合、無線範囲を補完します。

※コントローラ本来の無線通信範囲を広げる目的ではご使用できません。



器具見通しでの無線通信範囲

無線通信範囲の中で、障害物などがある場合器具に無線信号が届かないことがあります。



器具見通しでの無線通信範囲

無線通信範囲の中で、2台まで無線中継器を設置することで器具に無線信号を届けます。



無線通信範囲については各製品の取扱説明書をご覧ください。

ローカル自動調光システム

MILCO.S[®] [ワイヤレスタイプ]

コンセント式壁付コントローラ

三菱電機株式会社

製造会社 三菱電機照明株式会社

〒 247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/group/mlf/>

2017年8月作成